

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		家具転倒防止器具取付				所管	福祉部 高齢福祉課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	家具転倒防止器具取付事業実施要綱				
	事業対象	在宅で生活している高齢者のみの世帯。または高齢者が属し、世帯全員が住民税非課税である世帯。							
	事業目的	高齢者が生活する世帯に対し、家具の転倒防止器具の取付けを行い、地震発生時における安全性を高め、事故を未然に防止することを目的とする。							
	事業内容	対象者に対し、以下の家具転倒防止器具を3点まで無料で給付し、取付ける。ただし、1世帯1回限りとする。 (1)家具転倒防止ポール (2)家具転倒防止板 (3)L字型金具 (4)扉ストッパー (5)連結用止め金具							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	助成件数 (件)		80	381	104	99		
		累計助成件数 (件)		1,193	838	942	1,041		
	成果指標								
	決算額 (単位：千円)				8,322	1,368	1,178		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			2,700	1,250	852		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			8,322	1,368	1,178		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			11,022	2,618	2,030		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			4,161	684	589				
一般財源 (区負担額)			6,861	1,934	1,441				
前年度から改善した事項		区内消防署に事業案内チラシを配布したり、町会回覧を行うなど事業の周知に努めた。実績の少ない器具(チェーン金具)を需要の見込める扉ストッパーに26年度から変更予定。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	東日本大震災以降、防災意識が高齢者の中でも高まってきている。また、近い将来関東に大きな地震が発生するとも言われ、家具転倒防止の対策をとることは安心安全に生活していく上で必要である。						
	効率性	3	器具の選定と取付業務を事業者に一括して行わせることで、コストに見合った適切なサービスを提供している。						
	手段の適切性	3	業者と年間契約を結んでいる。発注依頼すれば随時、器具取付を行える。業者は設置場所の確認を行い適切な器具の取付を行っている。						
	目的達成度	3	器具を付けることにより、災害時の避難経路を確保できる。また、日常においては、高齢者に安心感を与えることにも役立っている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
地震等の災害時に高齢者の在宅生活の安全性を高めるため、事業を継続して行う必要がある。さらなる事業の普及啓発に努めていく。						維持			